

多面的機能支払交付金制度の展開を支援する 令和元年度 農村振興リーダー研修のご案内

主催：全国農村振興技術連盟

従来の農地・水保全管理交付金制度もカバーし、法律に基づく制度として実施されてきました「多面的機能支払交付金制度」は、令和元年度からは6年目に入り、多くの活動組織が新たな5か年の事業計画を作成することとなっていますが、引き続き、交付金制度による地域活動を円滑に進めていただくため、今回の研修では「活動組織の運営」及び「施設の簡易な補修」をキーワードに、制度の概要や手続きに関する講義のほか、活動組織の事務・組織運営等に関する講義、水利施設等の機能診断・補修技術に関する講義など、交付金活動を進める上での重要な内容を盛り込んだ演習を企画しました。交付金の制度については、農林水産省の担当官から直接説明を受ける講義時間を設けるとともに、受講者からの質問時間等を十分確保し、活動組織の皆さんの「ここを知りたい」に対応した研修としています。今回も、当研修の特長であるワークショップ手法の実践を通じて、活動組織の具体的な取組を進めていただけるよう支援させていただきたいと考えています。今年度より研修日程を見直して2日間の研修とするとともに、参加費用も見直しを行いました。多面的機能支払活動組織の皆様、農村振興に携わっておられる多くの皆様のご参加をお待ちしております。また、特に地域活性化に大きな役割を期待されている女性の方々の多くのご参加をお願い致します。

記

1. 研修日程、場所（今年度より、2日間の日程に変更しております。）
（会場に受講者用の駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。）

近畿ブロック 京都市 令和元年8月22日（木）～23日（金）
Yic貸教室（学校法人京都中央学院）2号館8階 285教室
京都市下京区油小路通塩小路下ル西油小路町27
（京都駅烏丸口西へ徒歩10分）

2. 研修対象者

- ① 多面的機能支払交付金における活動組織のリーダーや活動に参加している構成員、推進組織等のまとめ役など（地域活性化には、女性の協力は不可欠です。多くの女性の研修参加をお待ちしています。）
- ② 都道府県、市町村、土地連等の農村振興施策に携わっている者
（研修2日目は、活性化の提案や意見交換などを、参加者間で行っていただく濃密な研修形式になっています。）

3. 研修内容 テーマ「活動組織の運営と施設の簡易な補修」
ワークショップ形式による整備・活動計画策定等の体験学習、
機能診断・補修技術、組織運営及び人材育成等に関する講義
（別紙、「農村振興リーダー研修日程表」参照）
なお、一部の講義内容は昨年度と類似しておりますので、複数回
参加される方はご了承ください。

4. 研修人数 各会場 約72名程度
（参加者が多い場合は、調整が必要になる可能性がありますので、
早めにご相談下さい。）

5. 参加費 15,000円（研修内容と合わせて見直しました。）
（参加費は、多面的機能支払交付金の対象となります。）
（研修初日に研修会場にて申し受けます。昼食代は含みません。）

6. 申込先
滋賀県世代をつなぐ農村まるごと保全推進協議会
事務局：水土里ネット滋賀 業務課 担当：和気、鋒山
Tel 0748-42-7144
Fax 0748-42-5574
E-mail a.waki@midorinet-shiga.com

7. 申込み締め切り期限
近畿ブロック 令和元年 7月31日（水）
【滋賀県庁への提出締切り：7/19（金）】

8. 質問事項の事前受付
昨年まで、受講者からの要望で、研修1日目の農政局等担当者講義時における
質問時間の充実が指摘されています。質問の内容には、日頃の活動における疑
問点が多く上げられていたことから、参加者から事前に質問事項を受付し、連
盟で整理した上で、当日農政局担当者等から回答いただくことで、効率的な質
疑応答をしていただくとういうものです。時間の制約がありますので、おひと
り1～2問程度までで、研修申し込みの際、添付様式に質問事項をご記入の上、
一緒に提出してください。（なお、時間の関係で、すべての質問にお答え出来
ない場合もありますので、ご了承ください。）

9. 研修後の対応

全国連盟委員長名で修了証を授与し、「農村振興リーダー研修」修了者として台帳に登録した上で地方連盟委員長に報告し、人材の活用を図ります。

10. 研修参加に当たっての留意事項

(1) 研修初日の対応

受付は、開講式1時間前から受け付けます。従いまして、12時00分からの受付となります。研修参加者は開講10分前までに受付を済ませて会場にお入り願います。

研修初日の夕方に、希望者参加による懇親会（費用は3500円程度を想定）を企画しています。農政局（北海道は道庁等）の担当官等の出席も予定されていますので、時間等の事情が許す限り、奮ってご参加ください。なお、懇親会場は研修会場の近隣を予定しています。

(2) 研修期間中の宿泊

研修期間中の宿泊が必要な方は、各自で確保をお願いします。

（参加者には周辺の宿泊施設を紹介しますが、予約は各自でお願いいたします。）

(3) 会場までの交通アクセスの確認

研修参加者は、必ず事前に会場までの交通アクセスを確認して下さい。

車で来場される方は、**受講者本人で周辺の駐車場の確保**をお願い致します。

（研修会場では、受講者用の駐車場は確保しておりません。）

なお、近畿ブロックでは、昨年度と開催都市が変わっています。（奈良市→京都市）
ご注意ください。

(4) 研修者の携帯事項

各自筆記用具をご用意願います。

(5) 連絡先

本研修についてのお問い合わせは、全て下記にお願い致します。研修会場等へのお問い合わせは、ご遠慮下さい。

全国農村振興技術連盟 企画部 村松、木村

105-0004 東京都港区新橋5丁目34-3

TEL.03-3434-5407 FAX.03-3578-7176 E-mail kensyu@n-renmei.jp

●令和元年度 農村振興リーダー研修・プログラム(案)

日程	時間割	分	講義演習	内容	担当	備考
一日目	13:00～13:15 (スクール形式)	15		開講式・オリエンテーション	筒井講師、連盟	・挨拶/資料のチェック ・注意事項
	13:15～14:45	80	座学(1)	30分「交付金制度」について 50分 質疑応答	農政局 連盟	・制度の現状、課題等、 ・安全対策等
	14:45～14:55	10	休憩			
	14:55～15:55	60	座学(2)	老朽化した施設の診断と補修技術等に係 る講義	農政局土 地改良技 術事務所	・診断技術 ・補修技術
	15:55～16:10	15	休憩	スクール形式→アイランド形式		
	16:10～16:50	40	意見 交換	情報交換(地域課題の披露、自己紹介を 含む)	筒井講 師、連盟	
	16:50～17:00	10		翌日の説明	筒井講 師、連盟	
二日目	09:00～10:00	60	WS (1)	BJ法、KJ法のレッスン	筒井講師	テーマ:「検討中」・話し 合い方、まとめ方
	10:00～10:10	10	休憩			
	10:10～11:50	100	WS (2)	WS(ワークショップ)の基本講義、実践、成 果品の作成	筒井講師	WSの意味、プロセスと プログラムを考える、実 践してみる
	11:50～12:50	60	休憩	昼食(アイランド形式→スクール形式)		
	12:50～14:00	70	座学 (3)	活性化手法のあれこれ	筒井講師	農村活性化の成功事例 (全国事例)
	14:00～14:10	10	休憩			
	14:10～14:50	40	事例	管内事例地区紹介と質疑応答	連盟	・後継者の確保や育 成、課題の克服、女性 の活動
	14:50～15:10	20	休憩	発表準備		
	15:10～16:20	70	発表	プレゼンテーション(成果発表)	筒井講 師、連盟	・制限時間内での発表 ・全員での発表が望まし い
	16:20～16:30	10		・総括/アンケート提出/閉講式	局+連盟	・挨拶/修了証書授与

別添2

令和元年度農村振興リーダー研修 参加希望調査書

地方協議会名	地方連盟名	参加者氏名	所属・役職	所属先住所(活動組織等)		連絡先電話番号	連絡先(メールアドレス)	技術者継続教育機構会員番号	懇親会参加希望	適用
				市町村名	区名・町名 番地等					
(記入例)										
東北地方協議会	青森県連盟	青森 太郎	伊佐沼周辺田園環境保全組合 代表	青森市	伊佐沼町1-1-1	(自宅)017-222-2223	〇〇〇@yahoo.ne.jp	L333333	参加希望○	

注1)各会場の参加人数は80名を想定しています。

注2)技術者継続教育機構会員番号を記入頂いた参加者は、連盟事務局より機構事務局へ参加報告をします。

注3)連絡先(メールアドレス)をお持ちの方は記入して下さい。(研修会場案内図や翌年度の研修案内をお送りします。)

農村振興リーダー研修

「多面的機能支払制度」質問事項

都道府県名	団体名(所)	お名前	質問事項	備考